

竜巻に備えよう



竜巻は、発達した積乱雲に伴って発生する激しい渦巻きです。季節を問わず台風、寒冷前線、低気圧などに伴い発生し、「住宅の屋根がはぎ取られる」「電柱や樹木が倒れる」など甚大な被害をもたらします。

竜巻は、いつどこで発生するか予測が困難な気象現象で、発生すると建物などの被害は防げませんが、自分の身を守るための対策は可能です。

竜巻に関する発表情報

情報発表のタイミング（気象庁より発表）

半日～1日前

「気象情報」発表

「竜巻など激しい突風のおそれ」と明記されます。

竜巻が発生しやすい気象状況かどうか事前に確認

数時間前

「雷注意報」発表

落雷、ひょう等とともに、「竜巻」も明記されます。

外出前に最新の注意報を確認

0～1時間前

「竜巻注意情報」発表

今、まさに竜巻の発生しやすい気象状況になっていることがお知らせされます。

※「竜巻注意情報」は「竜巻」だけではなく、発達した積乱雲に伴って発生する激しい突風（ダウンバースト・ガストフロント）も対象としています。

空の様子に注意し、積乱雲が近づく兆しを感じたら、ただちに身の安全を確保

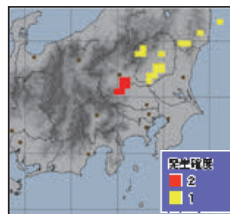
常時（10分毎）

「竜巻発生確度ナウキャスト」

ナウキャストで詳細な領域を把握できます。

戸外では、携帯電話サービスで最新のナウキャストを随時確認

竜巻発生!!



竜巻など激しい突風が発生する可能性が高い領域を、2段階の発生確度で表します。

■ 2	竜巻などの激しい突風が発生する可能性があり注意が必要である。
■ 1	竜巻などの激しい突風が発生する可能性がある。



(PC) <http://www.jma.go.jp/jp/radnowc>
(携帯) http://www.jma.go.jp/jp/bosai_joho/m/radnowc/

竜巻が身近に迫ったら…すぐに身を守るための行動を！

屋外では

- 頑丈な構造物の物陰に入って、身を小さくする。
- 物置や車庫・プレハブ（仮設建築物）の中は**危険**。
- シャッターを閉める。
- 電柱や太い樹木であっても倒壊することがあり、**危険**。

屋内では

- 家の1階の窓のない部屋に移動する。
- 窓やカーテンを閉める。
- 窓から離れる。大きなガラス窓の下や周囲は大変**危険**。
- 丈夫な机やテーブルの下に入るなど、身を小さくして頭を守る。